

室町文化—文化の諸相

これまで学習した室町文化を踏まえた上で、同時代の庶民の文化受容や地域の動向を学習する。室町時代に入って、庶民の生活の向上は著しく、その生活を伝える記録が豊かになるのもこの時代からである。また、徐々に庶民間に浸透した鎌倉仏教は、結束力を高めて各地で一揆を起こした。

○庶民を担い手とする文化

●庶民文芸の流行

<連歌>

(1) _____ が『犬筑波集』を編集して、滑稽を主とする庶民的な⁽²⁾ _____ 連歌（俳諧）を確立した。

⇒(1) のような連歌師が各地を遍歴して普及させ、民衆の間で連歌が流行した。



宗鑑（山崎宗鑑）

室町幕府9代足利義尚に仕え、後に出家した。俳諧連歌を興隆し、その奔放で滑稽味のある気風は、江戸時代初期の談林俳諧に影響を与えた。生没年不明。

<芸能>

田楽・猿楽から発達した⁽³⁾ _____ は庶民にも好まれた。

⇒(3) の幕間^{まくあい}に行われる⁽⁴⁾ _____ には日常的な言葉が用いられ、庶民の生活がその題材に選ばれた。



図2 狂言

<その他芸能>

幸若舞・古浄瑠璃・⁽⁵⁾ _____ ・⁽⁶⁾ _____ が庶民に好まれ、特に(6)の歌集として『⁽⁷⁾ _____ 』が編まれた。

◇幸若舞…武士の悲しい物語を題材にする芸能

◇古浄瑠璃…三味線を伴奏とする語り物で、江戸時代前期から人形浄瑠璃

<文学>

絵入りの短編物語である御伽草子^{おとぎぞうし}が次々に作られ、庶民の読者を増やしていった。

◇御伽草子…『浦島太郎』『一寸法師』『物くさ太郎』など



図3 『浦島太郎』



図4 『鼠草子』

●庶民が担い手となった背景—識字率の向上

商工業者をはじめ、農村でも読み・書き・計算が普及した。

⇒15世紀半ば、『⁽⁸⁾ _____ 』という辞書が作られ、知識の普及に大きな役割を果たした。

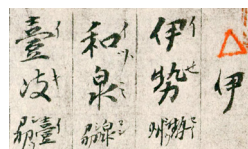


図5 『節用集』

○鎌倉仏教の動向

●世俗を嫌った禅宗の一派

幕府の保護を受ける臨済宗の一派（五山派あるいは叢林^{そうりん}）に対して、世俗を嫌った臨済宗の一派および曹洞宗は⁽⁹⁾ _____ と呼ばれた。
⇒(9) は地方で布教をおこない、地方の武士や庶民の支持を得た。



図6 一休宗純

↓
(9) の寺院には、臨済宗の⁽¹⁰⁾ _____ ・大徳寺、曹洞宗の永平寺があった。
⇒臨済宗大徳寺の⁽¹¹⁾ _____ は、五山の腐敗や墮落を批判した。

●日蓮宗（法華宗）の展開

関東に留まっていた布教が、室町時代には京にも及ぶようになった。
→6代将軍足利義教の時代に現れた⁽¹²⁾ _____ は、他宗と激しい論戦をして、しばしば迫害を受けた。
→日蓮宗は京で信者を徐々に増やし、⁽¹³⁾ _____ を結んで他宗と衝突した。
⇒1536年、⁽¹⁴⁾ _____
…(13) が延暦寺と衝突し、一時京を追われた事件



図7 鍋をかぶせられる日親

●浄土真宗（一向宗）の展開

応仁の乱の頃、本願寺の⁽¹⁵⁾ _____ が現れ、
⁽¹⁶⁾ _____ という平易な文章で浄土真宗の教義を説いた。
→また、⁽¹⁷⁾ _____ という門徒の集会を惣村ごとに開かせ、
(16) を送って信仰を固めさせた。
→門徒の結束力は強大になり、各地で⁽¹⁸⁾ _____ が起きた。
⇒代表的な(18)は、1488年の⁽¹⁹⁾ _____ である。



図8 蓮如

○文化の地方普及

●知識人

応仁の乱後、守護は京の貴族を受け入れたり、知識人を招いたりして威信を高めた。
⇒⁽²⁰⁾ _____ は肥後の菊池氏・薩摩の島津氏に招かれて朱子学を講じ、
⁽²¹⁾ _____ は土佐で朱子学を講じた。
◇(20) …⁽²²⁾ _____ の祖で、薩摩で朱熹^{しゅぎ}の『大学章句』を刊行



足利学校（所在地：栃木県）

足利学校は日本で最も古い学校として知られる。しかし、その創建については未だ不明で、明らかな歴史は関東管領の上杉憲実の再興以降のみである。
宣教師フランシスコ＝ザビエルに「板東の大学」として世界に紹介された。

●板東の大学

15世紀中頃、関東管領⁽²³⁾ _____ が⁽²⁴⁾ _____ を再興した。
⇒(24) は関東の学問の拠点となり、全国から人々が集まった。

●教科書

「御成敗式目」や往来物^{おうらいもの}『⁽²⁵⁾ _____』が読み書きの手本にされた。
◇往来物…手紙のやり取りを参考に、生活に必要な知識を学ぶ教科書の総称